

「第26回近畿高等学校弓道選抜大会」結果報告

大健闘の決勝トーナメント進出も

最後は実力の差を痛感しました・・・

11月25日(日)に、東洋大学附属姫路高等学校弓道場において「第26回近畿高等学校弓道選抜大会」が行われました。本校は、男子団体戦に出場しました。

◆11月24日(土) 公開練習

午前中学校で軽く練習してから、姫路に向けて出発しました。姫路駅到着後、試合会場の東洋大学附属姫路高等学校へバスで移動するのですが、バス停には長蛇の列。1回目では乗ることが出来ず、次のバスまで待ちました。次はかろうじて乗ることが出来ましたが、超満員でフラフラになりながら会場に到着。すぐに練習を開始しました。2時間程度じっくりと練習が出来ました。でも寒かったあ・・・



東洋大姫路高等学校 弓道場



公開練習



◆11月25日(日) 開会式・団体戦

開会式の後、個人戦からスタートです。個人戦をすべて終わらせてから団体戦となります。昨年からは予選1発勝負で、上位9校が巴戦の決勝トーナメントに進出出来ます。本校は、1年横山、2年久、田伏、控えを1年黒田というメンバーで挑みます。いよいよ勝負の予選開始です。大事な1本目、なんと全員外し、前半の6射でわずか1中という、取り返しのつかないつまづきとなってしまいました。しかし、練習のときから「何があっても最後の1本まで諦めるな」と言い続けてきました。その言葉を忘れていなかったのか、部員は決して諦めずに最後まで全力を尽くしました。結果、後半6射を5中とし、合計12射6中で予選を終えました。7中以上ならチャンスがあるかなと思っていたので、この6中という結果は微妙な結果となりました。最後の高校



開会式

男子団体予選



が終わるまでドキドキしながら待っていると、7中以上で8校までが決定、最後の9番目に本校を含む4校が並びました。英真学園、奈良高校、田辺工業高校、新宮高校の4校で決勝トーナメント進出決定競技となりました。競技は各自1本の合計3本を引いて的の中の1番高い高校が決勝トーナメント進出です。競技1本目、英真学園2中、奈良高校1中、田辺工業2中、新宮高校2中で、奈良高校が脱落。2本目、3校とも2中で、競技3本目へ。ここで英真学園2中、田辺工業1中、新宮高校1中となり、本校が勝利、決勝トーナメント進出が決定しました。

◆決勝トーナメント

決勝トーナメントは巴戦です。3校同時対戦で、1位校が決勝戦に進出します。そういう意味では1回戦は、準決勝といえます。抽選の結果本校は、和歌山1位で、前年度この大会の優勝校である日高高校と、大阪1位の浪速高校という厳しいグループに入りました。しかし、こんな強豪校と近畿の舞台で真剣勝負ができる喜びのほうが大きいです。結果は、浪速高校が1位、英真学園が2位、日高高校が3位という結果で、本校の決勝進出はなりません。残念という気持ちもありますが、決勝トーナメントに進出した高校の堂々とした射を見ていると、ここで勝ち抜くにはまだまだ力不足だと認めざるを得ません。特に決勝戦での浪速高校の選手は本当に素晴らしいと思いました。我々の目指すべきお手本がここにあると感じました。(浪速高校さん、優勝おめでとうございます。)



◆ありがとうございました。

今回も遠くまで保護者のみなさんに応援に来ていただきました。学校からは校長先生も駆けつけてくれました。また、大会前には有志の先生方に激励会も開いていただいたりと、本当にみなさんに応援していただいたことに感謝しています。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。これからもまわりの方への感謝の気持ちを忘れず、頑張っていきたいと思えます。



E I



「自分に打ち勝つことが、最も偉大な勝利である。」